※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語文法	2	1	English Grammar be 24

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語文法の授業では基本的な英語の文法を身につけ、２年次・３年次での英語を勉強する上での基礎力をつけます。
・単元ごとに小テスト等を実施して学習内容の定着を図ります。
・少人数展開を実施し生徒の習熟度に配慮し授業を行います。
　アドバンストクラスは入試問題に取り組める力をつけることをめざして学習を行います。
　スタンダードクラスは基礎の定着をしっかりと定着させます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ターゲットの文法項目が含まれた短い文章を聞いて理解することができる。 ・ターゲットの文法が使われている日常の会話を聞き、使用場面を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、状況や説明、視覚資料を用いて文法項目を理解することができる。	・ターゲットの文法項目が含まれた短い文章を読み理解することができる。 ・ターゲットの文法が使われている日常の会話文を読み、使用場面を理解することができる。 ・状況や説明、資格情報を用いて文法の機能を意識し、５文程度の文法項目が含まれた文章を理解することができる。	・相手の話す内容に応じて、ターゲットの文法項目を使用し短文で返答することができる。 ・ターゲットの文法が含まれた相手の話を聞き、理解することができる。 ・お互いゆっくり話すなど、お互いのサポートを用いて簡単なやりとりをすることができる。	・ターゲットの文法を含んだ文章を、相手にわかりやすく話すことができる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えにターゲットの文法を含めて発表することができる。	・自分のことについて、ターゲットの文法を用い短文で文章を書くことができる。 ・日常的な内容に関して、ターゲットの文法を含めて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1.2.3.4.5 英語の語順 文の種類 時制	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞きとろうとしている。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答しようとしている。 c: 相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、日本語を頼りに英文を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、英文を書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	Lesson 6.7.8.9.10.11 完了形 助動詞 受動態	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞きとろうとしている。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答しようとしている。 c: 相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、日本語を頼りに英文を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	Lesson 12.13.14.15.16 受動態 不定詞 動名詞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞きとろうとしている。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答しようとしている。 c: 相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、日本語を頼りに英文を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、英文を書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 17.18.19.20 分詞 関係詞	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞きとろうとしている。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答しようとしている。 c: 相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、日本語を頼りに英文を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
３学期	Lesson 22.23.24 比較 仮定法	聞くこと	a: ターゲットの文法項目を聞き取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を聞き取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を聞きとろうとしている。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: ターゲットの文法項目を読み取り、内容を理解し、機能を理解することができる。 b: ターゲットの文法項目を読み取り、理解することができる。 c: ターゲットの文法項目を読みとろうとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答することができる。 b: 相手が話す内容を聞き取り、それに対してターゲットの文法項目を用い返答しようとしている。 c: 相手が話す内容を聞き取ろうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: ターゲットの文法項目を用いて、自分の意見を交えた文章を書くことができる。 b: ターゲットの文法項目を用いて、日本語を頼りに英文を書くことができる。 c:ターゲットの文法項目を用いて、英文を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度